

(3)様式1：取組状況一覧

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
1. ハード対策の主な取組																						
■洪水を河川内で安全に流す対策																						
	・河道掘削 ・侵食対策 ・浸透対策 ・築堤	U,V	引き続き 実施	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進	・洪水を安全に流すため及び危機管理型のハード対策を推進する	引き続き 実施			・洪水を安全に流すためのハード対策を推進する。	引き続き 実施												
					下里地区河道掘削工事中【R2.1引き続き工事予定】 「防災・減災・国土強靱化のための3カ年緊急対策」でH30年度より河道掘削(樹木伐採)、浸透対策実施	引き続き 実施			【R2.1末現在】 ・支川は新井郷川(新潟)、福島潟(新発田・新潟)、駒林川(新発田)の工事を実施 ・阿賀野川の工事を実施(津川) ・H30年度より防災・減災・国土強靱化関係予算(緊急対策)等による河床掘削工事・伐木業務委託等を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き 実施												
				防災拠点等整備の検討	・防災拠点等の整備を検討する	引き続き 実施																
					検討中【R2.1現在】	引き続き 実施																
■流出抑制対策(R1追加)																						
	・ダムの高上げ、遊水地の整備(R1追加)				遊水地の整備、ダムの高上げ																	
■内水対策(R1追加)																						
	・排水機能の配備(R1追加)				排水ポンプ場の整備等の、排水ポンプ車の整備	・排水ポンプ車の更新・増強 ・排水ポンプ車や照明車等の災害対策車輛・機器について、平常時から定期的な保守点検を行い、災害発生時の出動体制を確保	・引き続き 実施													既存排水機場の維持管理		
	・調整池の整備 ・田んぼダムの活用(R1追加)				調整池等の整備															既存箇所の維持管理		
					田んぼダムの整備・活用																	
■危機管理型ハード対策																						
	・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	W	H28年度から順次整備		堤防天端の保護	・堤防天端の保護 ・堤防天端の保護についてH29年度完了	H28年度から順次整 引き 続き 実施			・堤防天端の保護 【R2.1末現在】 ・一部実施済(新発田) ・阿賀野川(白崎、吉津工区)、中ノ沢川(岡沢工区)を実施済(津川)	H28年度以降検討 引き 続き 実施											

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																								
	①新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	M,P,Q	H28年度から検討	水防資機材の確認・整備	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施	引き続き実施			・水防資機材の配備状況の確認・整備	引き続き実施	河川管理者や消防団と連携し水防資機材の配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と連携し水防資機材の配備状況の確認を実施する。	H28年度から検討	・河川管理者と連携を図り、配備状況の確認や整備を行う。	H28年度から検討	・河川管理者と町・消防本部・水防団等で資機材を確認する。	H28年度から検討	資機材を適切に、また迅速な水防活動が行えるよう、県との合同巡視時に点検した。【5月22日】	引き続き実施					
					【R1.5.15】合同巡視時に実施	引き続き実施			【R2.1未現在】 ・水防資機材の配備状況を5月～8月にかけて確認・補充を実施(新発田・新潟・新津・津川)	H30実施済、引き続き実施	・河川管理者と連携し阿賀野川重要水防箇所の巡視に合わせて水防資機材の配備状況の確認を行った。	引き続き実施	水防資機材の配備状況の確認・補充を実施。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している。 ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している。	引き続き実施	合同巡視時に実施済み。 出水期前に土のう用砂を津川地域に配備した。	引き続き実施							
				新技術を活用した水防資機材の検討・配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備	H28年度から検討		・新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討			・JR羽越本線橋梁右岸部の水防活動時間が短縮できる資機材の検討を進める。	H28年度から検討	・H23水害の教訓として、市の倉庫や消防器具置場、町内会館等に配備済みで、新技術を活用した水防資機材等の配備を検討する。	H28年度から検討	・水防資機材の種類や数量を検討する。	H28年度から検討	検討中	引き続き実施	検討中	引き続き検討				
					【R1.5】 阿賀野市の水防訓練への三角水のうの貸し出し 【R2.5】 阿賀野川・早出川総合水防演習にて使用予定	引き続き実施			【R2.1未現在】 ・検討中(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き検討			検討中。	引き続き実施	・出水期前に確認を行い、補充している ・地元町内会長からの申し出により、不足分を補充している ・新技術を活用した水防資機材等の配備については、検討中。	引き続き実施	検討中								
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置	L,J	H28年度から順次整備	CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置	・簡易水位計の設置 ・CCTVカメラの設置	H28年度から順次運用に向けて調整中			・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置	H28年度から検討、引き続き実施															
					・危機管理型水位計13基の設置済 ・簡易型カメラ4基の設置【R2.1設置中】 【R2年度運用開始予定】		・水位計・量水標の設置 ・洪水危険箇所における河川カメラ設置 【R2.1未現在】 ・危機管理型水位計を7河川7箇所に設置済(新発田3・新潟1・新津2・津川1)、10河川10箇所に設置予定(新発田6・津川4) ・簡易型カメラを7河川14箇所に設置予定(新発田4・新潟1・新津1・津川8) ・仙見川水系に新設雨量局設置を検討中(新津) ・柴倉川水系に新設の丸淵雨量局、合川水位局(阿賀町 常浪川)をR1.6月に設置済(津川)																		
	③庁舎等の耐水対策(R1追加)			庁舎等の耐水対策	出張所の耐水対策を検討中													・災害対策本部が設置される庁舎について、非常用電源の高さ対策を実施済み。		本庁舎(災害対策本部設置庁舎)浸水想定なし 受水槽を上階に設置し、浸水時も生活用水として確保					
	④災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有(R1追加)			災害拠点病院等の機能確保のための対策の実施状況を共有																					
	⑤排水機場の耐水化(R1追加)			排水機場の耐水化	完了している																				

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
2. ソフト対策の主な取組 ①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組																						
■情報伝達、避難計画等に関する事項																						
①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実（水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど） (R1一部追加)					川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	・川の防災情報システムの改良及びスマートフォンの活用した情報発信	順次実施			・新潟県河川防災情報システムの改良及びスマートフォン向け画面の検討	引き続き検討											
					川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信	【H28.3】よりスマートフォン向け機能を追加し、運用開始。HPIにて公表済み ・Twitterを用いた情報提供を運用し、改善を検討中【R2.1現在】	済			【H29.4】スマートフォン向け画面を公開(河管課) 【R1.6】河川防災情報システムの改良を実施(河管課)	済											
					信濃川下流域情報共有プラットフォームの構築	・信濃川下流域との防災情報を一元化し、共有・閲覧できるシステム(プラットフォーム)を構築 平成29年度にHPで公表済	順次実施 済															
					水位・気象情報等の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	順次実施	・気象警報・注意報を発表し、現象ごとに警戒期間、注意期間、ピーク時間帯、雨量などの予想最大値を周知	引き続き実施	・隣県水位局の情報を掲載 ・洪水時における水位の緊急速報メールの検討	引き続き検討											
						国土交通省発信で携帯電話事業者提供の「緊急速報メール」サービスを平成29年5月より開始。	済	適宜実施【R02.01現在】 ・「危険度を色分けした時系列表」を提供中	引き続き実施	【H29.3】隣県水位局の情報を新潟県河川防災情報システムで公開(河管課) 【R1.6】危機管理型水位計の水位情報を河川防災情報システムにて公開(河管課) 【R1.7】河川情報のプッシュ型配信サービスを開始(河管課) 【R2.1未現在】 ・簡易型河川監視カメラの画像情報を河川防災情報システムにてR2公開予定(河管課)	引き続き実施											
					カメラ映像の情報提供 (R1追加)	CCTVカメラの画像をHP上で公開済。	済															・必要に応じて適宜実施。
					自治体への情報伝達(ホットライン)	・現在ホットラインにWEB会議を活用できないか検討中【R2.1現在】		・必要に応じて、自治体に情報伝達(ホットライン)を実施 適宜実施【R02.01現在】 気象状況に応じ、適宜実施中	引き続き実施 引き続き実施													
										・危険箇所の範囲や避難所の位置を分かりやすく表示する「にいがた防災アプリ」について、更なる普及のため周知・広報を実施する。 ・緊急告知FMラジオの購入費助成制度について、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から実施	・登録制である阿賀野市安全安心メールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	H28年度から検討	・携帯電話やパソコンのメールを利用した五泉あんしんメールについて、更なる普及のため周知・広報を実施する。	引き続き実施							

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期
※「課題の対応（A～W）」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社					
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期			
			G,H I,J	順次整備	防災アプリ・ラジオ・メールの更なる普及のための周知・広報							・「にいがた防災アプリ」について、市民の利便性向上のため、同アプリの令和元年度末での廃止と新潟県の防災アプリへ移行を促す情報を市HPに掲載し市民に周知。 ・緊急告知FMラジオの購入費助成制度について、市HP及び市報にいがた掲載し市民に周知。	引き続き実施	広報紙やホームページへの記事掲載、防災塾等におけるチラシの配布による周知を実施。	引き続き実施	出水期前の市広報誌での周知に加え、出前講座や移動市長室、催事での周知を実施。	引き続き実施			新発田あんしんメールの登録者増加のため、周知・広報を実施。	引き続き実施					
					津波用同報無線の活用								・津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行う。 津波用として設置してある同報無線について河川洪水用としても活用するよう、既存設備の運用変更を行った。	H28年度から実施 H28年実施済。							津波用同報無線は設置していないが、J-ALERTと連動したサイレンを設置済み。	引き続き実施				
					ダム放流情報等の情報発信													・TV電話(告知情報端末)を利用して洪水時のダム放流情報や水位情報等を分かりやすく伝える。	H28年度から検討			・「阿賀野川洪水対策連絡協議会」を活用し、ダムの運用方法やホームページの見方・使用方法などを説明(要望があれば出向いて説明) ・各自治体広報誌へのダム放流警報に関する説明を掲載	引き続き毎年実施			
																		・洪水時のダム放流情報や水位情報等をTV電話(告知情報端末)で随時情報発信を行った。	引き続き実施			・ダムの運用方法、HPの見方等については、「阿賀野川洪水対策連絡協議会」にて説明【R1.5.27】 ・ダム放流警報に関する説明については、各自治体の広報誌に掲載(5、6月号)	引き続き毎年実施			
					FMラジオの配備事業 (R1追加)											H31.1から緊急告知FMラジオ配付事業を実施。	引き続き実施	－				津波浸水想定、土砂災害警戒区域付近住民へ貸与				
					Wi-Fiステーション整備 (R1追加)													－				検討中				
					降雨流出氾濫モデルの改良																・様々な災害リスク情報を「蓄積」、「共有」し、的確な避難行動につながるよう、降雨流出氾濫モデル(RRIモデル)を改良、発展させる。 阿賀町水災害情報共有システム(ARIS)の構築、試用版の作成に着手している。	H28年度から検討 引き続き実施				
					②関係機関と連携した防災行動計画(タイムライン)の整備 (R1追加)																					

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
		③避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	C	順次実施	タイムラインの整備・改善・支援	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など	順次実施	北陸地整・県・市・町と共同し、整備・改善を支援	順次実施	・市町が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供など	順次実施	・ホットラインのタイミングや庁内の体制などについて、タイムラインの改善を実施する。	H28年度から検討	・協議会の中で検討する避難計画(案)等をふまえ改善を行う。	H29年度から実施	・早出川(国管理区間)は整備済み ・阿賀野川については、タイムラインを策定 ・協議会の中で検討する避難計画(案)等をふまえ改善を行う ・河川管理者と連携を図り、改善・整備を行う。	H27年度から順次実施	・タイムラインの策定	新潟県からの情報提供後に実施				
						【H28.5.27】洪水対応演習時にタイムラインのたたき台作成 H29出水、R1出水において適宜自治体に水位情報等を提供	引き続き実施	【R02.01現在】避難判断基準の検討については、市町村訪問により、H31.3改定の避難勧告等に関するガイドラインに沿った避難判断基準の解説を実施し、市町村支援を行う。(R01.08完了) また、これにあわせて台長による首長訪問を実施し、市町村との連携強化を図る。(R01.08完了)	引き続き実施	【H29.6.12】早出川(五泉市)のタイムラインを策定済(新津) 【R1.7.31】常浪川(阿賀町室屋地区～広瀬地区)のタイムラインを策定済(津川) 【R1.9.5】常浪川(阿賀町広瀬地区～平堀地区)のタイムラインを策定済(津川) 【R1.9.5】常浪川(阿賀町県境～阿賀野川頭首工)のタイムラインを策定済(津川) 【R2.1未現在】 ・安野川(阿賀野市)のタイムラインを策定中(新発田) ・阿賀野川水系では、未策定(新潟)	済	引き続き検討	・洪水対応演習時にタイムラインを確認。【H31年4月26日】	引き続き実施	阿賀野川(国管理区間)についてはタイムライン整備済み。改善については検討中。	引き続き実施	早出川(国・県管理区間)のタイムラインは整備済。	引き続き実施	阿賀野川、常浪川のタイムラインを整備した。	引き続き検討	検討中 新発田市版マイタイムラインを作成し市民へ周知	引き続き実施	
		④想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表(浸水ナビ等による公表)	D、E、F	H28年度から順次実施	洪水浸水想定区域図・家屋倒壊等氾濫想定区域図の策定・公表	・阿賀野川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・早出川洪水浸水想定区域図の策定・公表 ・家屋倒壊等氾濫想定区域図を作成し自治体へ提供	H28年度から実施			想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表を行う。	H28年度以降検討												
						【H28.5】HPIにて公表	済			【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R2.1未現在】 ・安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) ・阿賀野川水系での浸水想定区域図(L2)未策定(新潟) ・新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)作成中(津川)	済	済	引き続き実施・検討										

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
⑥	参加市・町 による広域 避難計画の 策定及び支 援	D,E	〔計画規模〕 平成28 年度から 順次実施 〔想定最大規模〕 平成29 年度から 順次実施	計画規模洪水・想定 最大規模洪水に対 する広域避難計画 の検討・策定・支援	・作成に必要な情報の 提供及び策定を支援	H28年 度から順 次実施	・作成に必要な情報の 提供及び策定を支援	H28年 度から順 次実施	・作成に必要な情報の 提供及び策定を支援 ・市町間の調整や運営 上の課題への支援	引き 続き 実施	・広域避難の現実性について検討する。	H28年 度から検 討	自主防災組織の育成・ 強化のため、防災塾 (講座・訓練)を実施。	引き 続き 実施			育成・強化のため、職員 派遣を行い、講座を 実施。	引き 続き 実施					
					・作成に必要な情報を 提供	引き 続き 実施	【R02.01現在】 要請に応じて、適宜支援	H28年 度から順 次実施	【R2.1末現在】 ・H27.11及びH28.6に広 域避難検討地区の抽出 や課題・対応について 意見交換会を実施 (河管課)	引き 続き 実施	引き続き広域避難の 現実性について検討 する。	引き 続き 検討		引き 続き 検討		検討中	引き 続き 実施						
	⑦広域的な 避難計画等 を反映した新 たな洪水ハ ザードマップ の策定・周知	D,E F	H28年度 から順 次実施	洪水ハザードマップ の改良・周知	・ハザードマップポータル サイトの周知と活用 を促進	H28年 度から 実施					・新たな浸水想定区域 に対応した洪水ハザード マップへの改良と、出 前講座などを活用した 周知・広報を実施する。	新潟 県からの 情報提供 後に実施	・洪水ハザードマップ の更新整備を図り、自治 会等に配付、説明会の 開催	H29年 度から 順次 実施	・ハザードマップの見 直しを行い、全戸配布 により周知する。	H29年 度以降 検討	・洪水ハザードマップ の見直しを行い、全戸 配布により周知する。	H29年 度以降 検討					
					・【H28.8】想定最大規模 降雨による洪水浸水 想定区域データを更新 ・【H28.6】検索ツール等 改良 いずれもHPにて公表	引き 続き 実施			・新潟市総合ハザード マップ作成・全戸配布 (H31年3月末)を行い、 市民に周知。	H30年 度に 実施 済み	想定最大規模の浸水 想定区域を表示した洪水 ハザードマップを H30.5に全世帯へ配布。 防災塾で説明を実施。	引き 続き 実施	・想定最大規模降雨の 洪水浸水想定区域を 表示したハザードマップ 作成と全世帯への配布 がH30.4で完了。	H29・ 30年 度	想定最大規模降雨の 洪水浸水想定区域が 公表となり、洪水ハ ザードマップの見直し に着手。令和2年6月 下旬までに全戸配布	H30年 度検討	想定最大規模の降雨 による洪水浸水想定区 域も含めた新発田市 ハザードマップの全戸 配布及び、市民公開 GISにて公開した。	H30完 成。					
	⑧水位周知 河川の見直し 及び追加指定 の検討 (R1追加)			水位周知河川の見 直し及び追加指定 の検討					【R2.1末現在】 ・安野川(金田町水位 局・大室水位局)を令和 2年度より水位周知 河川とする(新発田)				安野川を水位周知河 川に指定することについて 県と調整中。	引き 続き 実施	・関係機関と引き続き 協議。								
	⑨水位予測 の検討及び 精度の向上	B,M	H28年度 から検討	水位予測の検討及び 精度の向上	・現状予測期間(～3時間) ・更に数時間(4～6時間 程度)先も含め水位 予測の精度向上の検討 ・システム改良を行う。	H28年 度から 検討			・上流水位局による下 流水位予測の検討	H28年 度から 検討													
					・予測手法が改善される、 水害リスクラインにおける 水位予測を検討中	運用 に向けて 調整																	
	⑩気象情報 発信時の「危険 度の色分け」や「警 報級の現象」等の 改善	J	H29年度	気象情報発信時の「危険 度の色分け」や「警報級の 現象」等の改善			・警報等における危険度の 色分け表示 ・「警報級の現象になる 可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年 度出水 期から 実施															
							【R02.01現在】 ・「危険度の色分け表示」、 「警報級の可能性」、 「危険度分布(メッシュ 情報)」の提供中	H29年 度出水 期から 実施															
⑪	流域雨量 指数(洪水警 報の危険度 分布)を活用 した水害危 険性周知を 検討 (R1追加)			流域雨量指数 (洪水警報の危険度 分布)を活用した水 害危険性周知を検討									避難勧告等発令の判断 において、流域雨量 指数についても確認。	引き 続き 実施	・関係機関と引き続き 協議。		関係機関と調整が必要 のため、今後検討						
⑫	関係機関 が連携した 訓練の実施 (R1追加)			洪水対応演習、水防 訓練等の実施	・洪水対応演習の実施																		
					・【H31.4.26】洪水対応 演習実施 ・【H31.5.9】内水排除訓 練実施 ・【R1】地域各種防災訓 練に参加										関係機関が連携した 洪水対応演習 (H31.4.26)、水防工法 演習(R1.5.26)を実施。	引き 続き 実施	・【R1.6.2】出水期前に 市主催の水防訓練を 実施。		関係機関と協力し開催 (水防訓練)【6月25日】 市総合防災訓練実施 (洪水対応訓練)【10月 27日】				

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)						北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
		⑬市町村庁舎や災害拠点病院の施設関係者への情報伝達体制、方法について検討(R1追加)			水防情報の伝達	・情報伝達元の市町に対し、正確かつすみやかな予警報の伝達に努め、またホットライン等も含めた新たな取り組み等で協力して行く。	順次実施																
						・市町村とのホットライン等構築	引き続き実施							検討中。	引き続き実施	・市関係部署の水害に関する連絡体制は構築済み。				エリアメール、新発田あんしんメール、FMラジオを用いた情報伝達			

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期				
	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組																								
	①自治会や地域住民が参加した水害に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施	A	順次毎年実施	重要水防箇所の共同点検	・重要水防箇所等の共同点検を実施	順次毎年実施			・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施	H28年度から実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と自治会や地域住民が参加した重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施	・河川管理者と地域住民等で重要水防箇所等の共同点検を実施する。	順次毎年実施							
					沿川市町、沿川自治会と共同で重要水防箇所等の点検を行った。【R1.5.15】	引き続き毎年実施			【R2.1未現在】 ・阿賀野市(R1.5.21)、新発田市(R1.5.22)と共同で重要水防箇所等の点検を実施(新発田) ・五泉市とR1.7.4に共同で重要水防箇所等の点検を実施(新津) ・阿賀町とR1.5.2に共同で重要水防箇所等の点検を実施予定(津川)	引き続き毎年実施	・河川管理者と実施した阿賀野川重要水防箇所の共同点検に参加	順次毎年実施	R1.5.15に河川管理者が開催した重要水防箇所等巡視に自治会住民とともに参加。	引き続き実施	【R1.5.15】河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	引き続き実施	河川管理者が主催する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	順次毎年実施	新発田地域振興局地域整備部と重要水防箇所合同巡視を実施。【5月22日】	順次毎年実施					
	②小中学校等における水災害教育を実施	A	引き続き実施	出前講座(水害教育)の実施	・市町の要請により、出前講座等を積極的に 行っていく。	引き続き実施			・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市町の要請により、出前講座等を積極的に 行っていく。	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育(洪水災害)を実施する ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進める。 ・防災に関する体験学習を行う施設や出前講座などを行ってくれる組織と連携した防災学習を促進する。 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施。	H27年度から実施	・市内の小学高学年の水防災副教材を作成する。	H28年度から実施	・小中学校での水害教育を実施している。	引き続き実施	・小中学校で防災教育を実施している。	引き続き実施							
					【H30.10.27】阿賀野市安野小学校で水害の出前講座を実施。 【H30.11.2】阿賀野市安田中学校で水害の出前講座を実施。				【R2.1未現在】 ・新潟市立新津第二小学校(R1.6.6)、新潟市立結小学校(R1.6.26)、五泉市立大蒲原小学校小学校(R1.10.2)に河川・水害・ダム等の出前講座を実施(新津) ・新発田市立加治川中学校(R1.12.17)に洪水災害防災の出前講座を実施(新発田) ・阿賀町市立上川小学校(R1.9.5)、阿賀町立津川小学校(R1.9.24)、阿賀町立三川小学校(R1.9.30)に河川・水害等の出前講座を実施(津川) ・予定なし(新潟)	引き続き実施	・新潟県防災教育プログラムに基づき全小中学校の各学年で、防災教育(洪水災害)を実施。 ・各校の特徴、地域特性に応じて新潟県防災教育プログラムの自校化を進めている。 ・防災に関する体験学習を行う施設(消防署)や出前講座などを行ってくれる組織と連携した防災学習を実施。 ・学校と家庭や地域が連携した実践的な防災教育を実施(親子防災講座)	引き続き実施	R1.7に小学5年生を対象に防災ハンドブックを配布。 R1.7.18に神山小学校で防災学習を実施。	引き続き実施	市内保育園(3園)、五泉小学校、五泉北中学校において防災学習を実施。 【R2.2現在】	引き続き実施	三川小学校で防災学習会を実施した。 【R1.12.5】	引き続き実施	二葉小学校などで防災授業を実施。						
				教育委員会との連携・効果的な対応の検討			・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。	H28年度から実施																	
							【R02.01現在】新潟地方気象台学校防災教育部会を設置済み、要請に応じ学校安全教室指導者研修会等に講師を派遣	H28年度から実施														全小学校(4年生)を対象に防災教育を実施	引き続き実施		

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
		③出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	A	引き続き実施		・市町の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施			・市町の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。	引き続き実施	・出前講座等を活用し、水防災等に関する説明を実施	新潟県からの情報提供後に検討	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度から実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度以降実施	・ハザードマップ作成の際に説明会を実施	H29年度以降実施			・ダム操作に関する各自治体への出前講座の開催 ・防災担当者を対象としたダム見学会の開催	H29年度から実施
					説明会・見学会の実施	・要請があったコミュニティ協議会、自治会、市議会等へ説明会・見学会を実施	引き続き実施			【R2.1末現在】 ・消防学校職員へ水防災に関する講義を3回(5.13・6.10・12.20)実施(河管課) ・新潟市の小学校(早通小学校他4校)、五泉市の小学校(愛宕小学校他5校)の計11校に早出川ダムへの見学会時にダム・河川・災害等についての説明を実施(新津)	引き続き実施	・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、職員による講演など)	引き続き実施	阿賀野川洪水時の浸水想定区域の自治会等に対し、防災塾(防災講座・訓練)を実施。	引き続き実施	・出前講座を各所で実施。 ・新しいハザードマップ作成後、計4回の住民説明会を実施。(H30年度) ・その他、計18回(約550人)出前講座等を実施。【R2.2現在】	引き続き実施	検討中	引き続き検討	自主防災組織へ出前講座を実施。(ハザードマップ等の説明)	引き続き実施	・津川地区振興事務所との情報交換会を実施。【R1.9.12】 ・ダム見学会を通じてダム操作等に関する説明を実施。	引き続き実施
								・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。	H28年度から実施														
					関係機関との連携・効果的な対応の検討			【R02.01現在】 出前講座等の機会に水防災に関する防災気象情報を説明	引き続き実施														
		④まるごとまちごとハザードマップを整備	D,F I	順次実施	洪水ハザードマップの検討・整備支援	・市町が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供	順次実施			・ハザードマップの基礎資料となる浸水想定区域図の作成と公表	引き続き実施			・下里自治会で取組みを実施	H28年度から実施	・ハザードマップの見直しの際に検討する。	H29年度以降実施						
						【H29.3】阿賀野市下里地区にハザードマップ整備。 【H30.3】法柳、深堀、京ヶ島及び下里の4自治会で設置 【R1.6、R1.7】窪川原、粕島の2自治会で設置	引き続き実施			【H29.6】早出川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新津) 【H30.6】常浪川洪水浸水想定区域図(L2)公表(津川) 【R1.7】安野川洪水浸水想定区域図(L2)公表(新発田) 【R2.1末現在】 ・阿賀野川水系での浸水想定区域図(L2)未策定(新潟) ・新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図(L2)作成中(津川)	済 引き続き実施・検討		H28年度からまるごとまちごとハザードマップを設置。 R1年度からは、電柱への洪水ハザードマークの取付けを実施。	引き続き実施	検討中【R2.2現在】	引き続き検討							
		⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料(浸水実績含む)を作成・配布	H	順次実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28年度から実施	・洪水時の情報収集や避難の判断基準等を一般住民に理解してもらえる家庭向けのチラシを作成し、ホームページで公表 ・チラシを市町村や県地域整備部へ配布	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	新潟県からの情報提供後に検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H29年度から検討				
					水防災に関するパンフレットを作成、記者発表、HPでの公表、市役所等へ配布(一般配布用)を実施	引き続き実施	【R02.01現在】 水防災に関する防災気象情報の資料を作成し、出前講座等で使用 ・大雨に対する備えを記したパンフレットを発行し、必要に応じて配布実施 ・洪水警報の危険度分布広報グッズ「危険度分布ルービックキューブ」を県内全市町村に配布。 【H31.4月-R01.8月】	引き続き実施	【R2.1末現在】 ・H28年度から継続的にクリアファイル「洪水から命を守る」をほぼ配布済(新発田・新潟・新津・津川) ・洪水時の避難に役立つ情報をまとめた地域版洪水対応ポケットブックを作成(新津) ・出前講座・ダムへの見学者・R2年度阿賀野川・早出川総合水防演習時等で配布する「阿賀野川水系早出川洪	済 引き続き実施	・河川管理者が作成した水防災に関するパンフレットを危機管理防災局及び区役所の窓口に設置し、市民へ配布。	引き続き実施	パンフレットを窓口に設置。	引き続き実施	随時広報紙及び市主催のイベント等において防災啓発を実施。	引き続き実施	水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き検討	振興局作成の水防に関するパンフレットを窓口へ設置。	引き続き検討			

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社				
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
	⑥住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実	K	順次実施	自主防災のあり方・役割の(再)啓発							・住民の防災意識を高めるための研修を実施	引き続き実施	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施		・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次	・自主防災のあり方、役割の(再)啓発を実施	H28年度から順次実施							
				自主防災のあり方・役割の(再)啓発									・自主防災組織や住民向けに、出前講座や勉強会を実施。(啓発DVDや豪雨・台風動画の視聴、職員による講演など)	引き続き実施	住民の防災意識・地域の防災力を向上させるため、防災塾(講座・訓練)を実施。	引き続き実施	・自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 ・各所で出前講座を実施。 ・市より希望する団体へ啓発DVDや資料等の貸し出しや配布を行った。	引き続き実施	自主防災組織の設立、防災訓練の呼びかけ、実施による地域防災力の向上を図った。	引き続き実施	自主防災組織設立後、資器材整備や活動等に対し補助金を支給。 自主防災組織や住民へ向け出前講座の実施。				
					実践的な研修・訓練の実施										・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施	・実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施	H28年度から順次実施					
				実践的な研修・訓練の実施											防災塾として訓練を実施。	引き続き実施	検討中【R2.2現在】	引き続き検討	内水対応地区での現地確認及び樋門操作、情報伝達等の水防訓練を実施。	引き続き検討	各自主防災組織にて防災訓練等の実施	引き続き実施			
					自主防災組織の設立支援・防災士の養成										・自主防災組織の結成率の向上を図る。	引き続き実施	・自主防災組織の要となる防災士の養成	H28年度から順次実施	・自主防災組織率が低いため、引き続き設立の支援を行う。	H28年度から順次実施					
				自主防災組織の設立支援・防災士の養成											自主防災組織や消防団など住民向けに出前講座や勉強会を実施。	引き続き実施	自主防災組織の設立支援や防災士の養成のきっかけとするため、R1.10.27に自主防災シンポジウムを実施。	引き続き実施	・引き続き支援を行う。 ・新潟県と共催で、町内会関係者等を対象とした自主防災シンポジウムを開催した。【R2.2現在】	引き続き実施			未組織自治会へのアンケート文書の送付。設置までの具体的な方法についての指導等。		
⑦関係機関が連携して、自治体の避難情報、河川やダム等の防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練や、避難場所への避難訓練の実施(R1追加)			自治体の避難情報を活用した住民参加型の避難訓練											自治体の避難情報を活用し、小学校区単位の地域防災訓練や自治会単位の防災訓練を実施。	引き続き実施	・【R1.6.9】避難情報を活用した総合防災訓練を実施。					Lアラート、エリアメール等を用いた総合防災訓練を実施【10月27日】				
			河川の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練										検討中。	引き続き実施	・令和元年度は実施なし。										
			ダムの防災情報を活用した住民参加型の避難訓練											検討中。	引き続き実施	・令和元年度は実施なし。									
			その他の防災情報を活用した住民参加型の避難訓練											検討中。	引き続き実施	・令和元年度は実施なし。									

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
					避難場所への避難 訓練																		

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社	
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
2. ソフト対策の主な取組 ②氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組																						
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組																						
	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	N	引き続き毎年実施	出水時連絡体制の確認	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。 【R1.5.22】水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施			・出水時における連絡体制の確認 【R1.5.22】水防連絡会にて確認(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行う。 ・阿賀野川水防連絡会にて連絡体制を確認	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・河川管理者と市、消防本部、水防団の連絡体制を確認する。 水防連絡会で確認。	引き続き毎年実施 引き続き実施	・水防連絡会で連絡体制を確認する。 引き続き毎年実施	・水防連絡会で連絡体制を確認する。 本年度の水防連絡会等で確認済	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	水防連絡会にて確認	引き続き毎年実施	・出水期間前の「阿賀野川洪水対策連絡協議会」開催による連絡体制の確認 「阿賀野川洪水対策連絡協議会」にて連絡体制を確認【R1.5.27】	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	
				情報伝達訓練の実施・参加・支援	県・市・町と共同で情報伝達訓練を実施する。 【H31.4.26】洪水対応演習を実施	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・情報伝達訓練への支援	引き続き毎年実施	・情報伝達訓練の実施 【H31.4.26】洪水対応演習を実施(新発田・新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する。 ・水防訓練、防災訓練を通じて、情報伝達訓練に参加	引き続き毎年実施 引き続き実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加する	引き続き毎年実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加 【H31.4.26】	引き続き毎年実施	河川管理者が行う情報伝達訓練に参加【4月26日】	引き続き毎年実施	・河川管理者が実施する実践的な訓練に参加 ・全国ダム管理演習を通じての情報伝達訓練 「全国ダム管理演習(情報伝達訓練)」に参加【H31.4.26】	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施
	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施	LMN	引き続き毎年実施	重要水防箇所の合同巡視	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き毎年実施			・出水期前に市町村や水防団等と重要水防箇所の合同巡視を実施 【R1.5.15】 ・阿賀野川河川事務所、沿川市町、東北電力と合同で重要水防箇所、および各機関管理の水防倉庫の備蓄資材等の確認を実施(新潟・新津・津川)	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。 ・河川管理者と実施した阿賀野川重要水防箇所の合同巡視に参加	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。 R1.5.15に行われた河川管理者主催の阿賀野川重要水防箇所等巡視に参加。	引き続き毎年実施 引き続き実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施する。 【R1.5.15】河川管理者が主催する重要水防箇所の合同巡視に参加。 【R1.7.4】市関係部局と河川管理者で、市内重要水防箇所について点検を行い、情報共有を図った。	引き続き毎年実施 引き続き実施	河川管理者が主催する重要水防箇所の合同巡視に参加	引き続き毎年実施 引き続き実施	新発田地域振興局地域整備部と重要水防箇所合同巡視を実施。 【5月22日】	引き続き実施 引き続き実施	・重要水防箇所の点検・巡視への参加 阿賀野川重要水防箇所等の巡視に参加【満願寺管内 R1.5.15 2名】	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施
					③水防団間での連携、協力に関する検討、調整(R1追加)			水防団間での連携、協力に関する検討、調整							検討中。	引き続き実施	・出水期前に水防団を集めて連絡体制等の確認を実施。				無線、消防団メールを活用した連絡体制の強化	
④毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	P,Q	引き続き毎年実施	出水期前の水防訓練の実施・参加・支援	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・関係機関等の要請により、訓練への支援	引き続き実施	・水防管理団体が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等を行う。	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を実施	引き続き毎年実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・水防訓練、防災訓練の内容を検討する。 R1.5.26に阿賀野川水防工法演習を実施。	引き続き毎年実施 引き続き実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・水防訓練、防災訓練の内容を検討する。 【R1.6.2】水防訓練を実施。	引き続き毎年実施 引き続き実施	・毎年、出水期前に水防訓練を実施 ・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働水防訓練を検討 【R1.6.23】消防団を主体した水防活動が迅速及び安全に実施できるよう、水防活動実務者研修会を実施した。	引き続き毎年実施 引き続き毎年実施	加治川水防工法演習に参加【6.25】	引き続き実施	「阿賀町水防訓練」に参加【R1.6.23 2名】	引き続き毎年実施 引き続き実施	
				【H30.8.27】古川樋門で新潟県、阿賀野市と共同で災害対策車両の訓練を実施。 各自治体の水防訓練に参加。 【R1.5.9】太田川排水機場で排水ポンプ車の実働訓練を実施	【R02.01現在】要請に応じ適宜支援	引き続き実施	【R1.5.18】 ・富山県で実施されたる庄川・小矢部川総合水防演習にR2年度の開催となる五泉市と共に参加(河管課・新津) 【R2.1末現在】 ・新潟市北区高森でR1.5.22に阿賀野川河川事務所、沿川自治体職員と合同の災害対策車両の訓練などの水防訓練に参加(新潟・新津) ・阿賀野市でR1.5.26に阿賀野市主催の水防訓練に参加(新発田) ・五泉市で五泉市主催(R1.6.2)の水防訓練に参加(新津) ・阿賀町でR1.6.23に実施阿賀町主催の水防訓練に参加(津川) ・R2年度阿賀野川・早出川総合水防演習の開催に向けた会議へ参加運営委員会・幹事会(河管課・新発田・新潟・新津・津川) 水防・救難救助・地域防災部会(新津)	引き続き毎年実施	新潟市北区高森で阿賀野川水防訓練を実施	引き続き毎年実施												

（様式1-取組一覧） 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期
		⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	O,Q	引き続き実施	水防団員の募集促進					・水防活動の担い手となる消防団員の募集を促進する。	引き続き毎年実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施	H28年度から実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施 ・市内参加企業による団員の優遇措置	引き続き毎年実施 引き続き実施	・広報誌やホームページで水防協力団体を募るページを作成し、募集を実施	引き続き毎年実施						
										・各種イベント等あらゆる機会をとらえ、消防団員の入団促進活動を実施。	引き続き実施	消防団作成の会報に団員募集の記事を掲載。 市ホームページに消防団・消防団協力事業所募集のページを掲載。	引き続き実施	広報・HP、地元消防団を通じ募集中。	引き続き実施	広報、ポスター、町ホームページで消防団員を募集した。	引き続き毎年実施	ポスターの掲示などで消防団を募集。	引き続き実施				
		⑥洪水に対するリスクが特に高いJR羽越本線橋梁右岸部の水防活動に着目したタイムラインの整備	U	H28年度	タイムラインの整備・支援	・堤防が著しく低いJR羽越本線橋梁右岸部の水防に関して、毎年、関係機関等との連絡体制の確認 ・タイムライン作成に必要な水位情報等の提供	H28年度から実施					・JR羽越本線橋梁右岸部の水防活動手順・時間を再確認し、タイムラインを整備する。	H28年度から実施										
						JR・阿賀野市と現地で連絡体制を確認【H30】 【R1.10】台風19号出水時、水防対応	引き続き実施					河川管理者、市(危機管理課・消防本部・消防団)で現地確認を実施。	引き続き実施										
		⑦国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	P	引き続き実施	水防技術講習会への参加	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施						
						水防技術講習会に参加	引き続き実施			【R2.1末現在】 ・職員が2回(R1.11.12、12.2)参加(新潟) ・参加なし(新発田・新津・津山)	引き続き実施	・国土交通省主催水防技術講習会に参加	引き続き実施	R1は不参加。今後参加を検討。	引き続き実施	・R元年度は参加者なし。 今後参加を検討。	引き続き実施	検討中	引き続き実施				
		⑧大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	R	H28年度から検討	復旧活動の拠点等配置計画の検討	・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から検討			・復旧活動の拠点等配置計画を検討	H28年度から実施												
						検討中【R2.1現在】	引き続き実施			【R2.1末現在】 検討中(河管課)	引き続き検討												

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものかを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社		
項目	事項	カテゴリ	課題 の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期		
	■流域対策に関する取組(R1追加)																						
	①平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討を実施				平成16年7月、同23年7月を上回る豪雨に襲われても壊滅的な被害を招くことのないよう、新たな治水対策の検討	・新たな治水対策の検討を実施	引き続き実施																
							・新たな治水対策の検討を実施新たな治水対策の検討を実施	引き続き実施						検討中。	引き続き実施	—				県へ水位計、簡易カメラ設置要望			
														検討中。	引き続き実施	・ハザードマップに家屋倒壊等氾濫想定区域など、早期立退き避難区域を設定・明示。				自主防災組織へ出前講座時に早期避難の周知			
	②流域における氾濫被害軽減に向けた対策の検討を実施(R1追加)				外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討	・外水氾濫の被害軽減に向けた対策の検討を実施	H28年度から検討 引き続き実施																
	③浸水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有、連携(R1追加)				水被害軽減地区の指定のための情報提供及び複数市町村に影響が想定される場合の共有	浸水被害軽減地区の指定に参考となる情報の市町への提供 浸水被害軽減地区の検討を実施	順次実施																
	■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組																						
	①要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施(R1一部追加)	K	H28年度から順次実施		避難計画策定の推進	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う ・協議会等において要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成状況を共有	引き続き実施			・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の技術的な助言を行う 【R2.1末現在】 ・要配慮者利用施設向け啓発チラシを作成・配布 ・国交省主導の避難確保計画に係る講習会プロジェクト(R2.2.14糸魚川市で開催)に参加(河管課)	引き続き実施	・要配慮者利用施設について、説明会の実施やお知らせの送付などにより避難計画策定の推進を行う。 ・要配慮者利用対象施設へ避難確保計画策定の依頼を実施【H30年6月～】 提出件数757件 対象施設1,295件【R2年1月末】 ・未提出の施設に対して、提出を促す。	H28年度から実施 引き続き推進	・想定最大規模での浸水深により避難計画の見直し整理 要配慮者施設に対し、避難確保計画の策定を促進。 相談を受けた施設には対応済み。	H28年度から順次実施 引き続き実施	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・要配慮者利用施設に対し必要な情報提供を行い、避難計画策定を促す。	H28年度から実施 引き続き実施	・要配慮者利用施設における計画策定の推進を行う。 相談を受けた施設は対応済み。引き続き計画策定を促す。	H28年度から実施 引き続き実施			要配慮者利用施設に対し周知を進め、未策定施設へ作成を呼びかけ。	引き続き実施
				避難確保計画作成状況									一部の施設において避難確保計画作成済み。	引き続き実施	・【R2.2現在】22/46施設作成済み				対象施設40施設中39施設が策定済み				
				要配慮者利用施設における避難訓練の支援									・要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も位置づけ、避難訓練等を支援 避難確保計画を策定した施設に対して、避難訓練の実施を支援予定。	H28年度から順次実施 引き続き実施									
②大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	I	H28年度から実施		浸水リスクの説明・水害対策等の啓発活動	・大規模工場等への浸水リスクの説明や水害対策など技術的な助言を行う ・自治体、施設管理者等からの要請に基づき、技術的な助言等を実施。	引き続き実施 引き続き実施						・大規模工場へ浸水リスクの説明や水害対策等の啓発活動を行う。 ・検討中【R2年1月】 ・平成29年度申請1件 ・平成30年度申請0件	H28年度から実施 引き続き実施										

(様式1-取組一覧) 取組状況確認様式

※上段:平成28年6月 取組方針策定時の実施内容と時期 下段:令和2年1月段階の取組状況(進捗)※随時更新する。
※「課題の対応(A～W)」は減災対策についての現状の課題であり、各取組がどの課題(詳細は「阿賀野川流域の減災に係る取組方針H28.6.4」参照)に対応したものを指す。

減災のための取組方針 (概ね5年間)					北陸地整		新潟地方気象台		新潟県		新潟市		阿賀野市		五泉市		阿賀町		新発田市		東北電力株式会社			
項目	事項	カテゴリ	課題の 対応	目標 時期	内容	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	取組状況	時期	
2. ソフト対策の主な取組 ③一刻も早く社会・経済活動等を回復させるための排水活動や協働の取組																								
■救援・救助活動の効率化に関する取組																								
			E.S	H28年度 から検討	広域支援拠点等の 検討・支援	・広域支援拠点等の検 討支援 検討を実施	H28年 度 か ら 検 討 引き 続 き 実 施			・広域支援拠点等の検 討支援 【R2.1末現在】 検討中(河管課)	H28年 度 か ら 実 施 引き 続 き 検 討			・広域支援拠点等の配 置等を検討 検討中。	H29年 度 か ら 検 討 引き 続 き 検 討	・広域支援拠点等の配 置等を検討 検討中【R2.2現在】	H28年 度 か ら 検 討 引き 続 き 検 討	・広域支援拠点等の配 置等を検討 検討中	H28年 度 か ら 検 討 引き 続 き 実 施	検討中	引き 続 き 実 施			
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																								
	①大規模水 害を想定した 阿賀野川排 水計画(案) の検討を実 施	S,T	H28年度 から検討	排水計画の検討	・排水機場、樋門、排水 路等の情報を踏まえ 排水ポンプ車の適切な 配置計画などを検討	H28年 度 か ら 検 討			・排水ポンプ車に関する 以下の情報の確認 及び情報共有 ①排水ポンプ車想定 箇所リスト ②浸水常習箇所リスト ③排水ポンプ車想定 箇所カルテ ④排水ポンプ車想定 箇所図	引き 続 き 毎 年 実 施	・排水施設等の情報を 確認・共有し、排水ポ ンプの設置箇所の選 定	H29年 度 か ら 検 討	・排水施設等の情報を 確認・共有し、排水ポ ンプの設置箇所の選 定	H29年 度 か ら 検 討	・排水施設等の情報を 確認・共有し、排水ポ ンプの設置箇所の選 定	H29年 度 か ら 検 討	・排水ポンプの設置箇 所の選定	H28年 度 か ら 検 討						
					L1・R1ブロックの排水 計画(案)の検討を実施	引き 続 き 実 施			【R1.5.22】 水防連絡会にて情報 を確認(新発田・新潟・ 新津・津川)	引き 続 き 実 施	検討中【R2.1現在】	引き 続 き 検 討	H30年度に、国が古川 樋門に堤防乗り越し管 を、県と市が排水ポン プ格納施設を設置。	済	検討中【R2.2現在】	引き 続 き 検 討	検討しているが、内水 排除の必要な樋門を 選定し排水ポンプ設置 応援業者を選定した。	引き 続 き 実 施						
	②排水ポン プ車の出動 要請の連絡 体制等を整 備	T	引き続き 毎年実 施	出水時連絡体制の 確認・整備	・毎年、出水期前に県・ 市・町と連携して連絡 体制の整備を行い、情 報共有を図る。 【H30.8.27】古川樋門で 新潟県、阿賀野市と共 同で災害対策車両の 訓練を実施。 【R1.5.9】太田川排水機 場で排水ポンプ車の実 働訓練を実施	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施			・連絡体制の確認 【R2.1末現在】 ・整備局へR1.6.14に連絡 体制の確認及び実働訓 練の協力依頼(河管課) ・阿賀野川河川事務所、 阿賀町職員と合同で重 要箇所、要請時の排水 ポンプ車の配置箇所確 認(津川)	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施・ 参加	・排水ポンプ車出動要 請の連絡体制の確認 を行う。 【H31.4.26】洪水対応演 習にて排水ポンプ車出 動要請の連絡体制の確 認を行った。	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施	・河川管理者と連携を 図り、連絡体制の整備 を行い毎年確認する。 排水ポンプ車出動要請 時の連絡体制を確認。	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 実 施	・河川管理者と連携を 図り、連絡体制の整備 を行い毎年確認する。 排水ポンプ車出動要請 時の連絡体制を確認。	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施	・河川管理者と連携を 図り、連絡体制の整備 を行い毎年確認する。 排水ポンプ車出動要請 時の連絡体制を確認。	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施						
	③関係機関 が連携した 排水実働訓 練の実施	U	順次実 施	排水実働訓練・水防 管理団体が行う水 防訓練への参加	・実践的な操作訓練や 排水計画に基づく排水 訓練の検討及び実施	H28年 度 か ら 実 施			・排水ポンプ車の実働 訓練の実施 【R1.5.9】 ・五泉市で阿賀野川河 川事務所、阿賀野市、 阿賀町と排水ポンプ車 の実働訓練に参加(新 発田・津川)	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 実 施	・水防訓練と合同で実 施 ・河川管理者が行う定 期的な操作訓練に参 加を検討 平成31年度は、河川管 理者が行う操作訓練に 参加していないが、来 年度以降河川管理者が 行う操作訓練に参加する 予定	H29年 度 か ら 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施	・水防訓練と合同で実 施を検討 ・河川管理者が行う定 期的な操作訓練に参 加 R1.5.9に行われた阿賀 野川災害対策車等訓 練に参加。	引き 続 き 実 施 引き 続 き 実 施	・水防訓練と合同で実 施を検討 ・河川管理者が行う定 期的な操作訓練に参 加 【R1.5】排水ポンプ車配 備訓練の実施。	H29年 度 か ら 実 施 引き 続 き 毎 年 実 施	・水防訓練と合同で実 施を検討 ・河川管理者が行う定 期的な操作訓練に参 加 【R1.6.24】三川地域で の排水ポンプ車実働 訓練に参加	引き 続 き 毎 年 実 施 引き 続 き 実 施			・水防実働訓練への参 加(阿賀町) 【阿賀町水防訓練】に 参加【R1.6.23 2名】	引き 続 き 実 施		
					・運転調整基準及び方 法の検討 ・検討中		引き 続 き 検 討							検討中。	引き 続 き 実 施	－								
					内水排水ポンプの運 転調整基準及び方 法の検討																			

